

子どものやけど

心と身体に残る傷をつくらないために

子どものやけどは皮膚が薄いため、家庭での初期治療がとても大切です。たとえ小さなやけどであっても、予想外の皮膚のケロイドや関節のひきつれをおこすことがあります。

〈家庭での応急処置〉

①早く患部の熱をとるために冷やすこと。

- ・手や足：水道水で、5～10分間冷やす。
- ・顔や頭：水をふくませたタオルなどをあてる。
- ・胸、腹や背中：衣服を無理にぬがさず、はさみで切る。

無理な場合はその上から水道水をかけて冷やす。

②冷やしたあとは水でぬらしたガーゼ、清潔なタオルなどで軽く包み水ぶくれは破らないこと。

水ぶくれができた時はかかりつけ医に相談する。

③赤くなっただけの時は、痛みのある間、氷で冷やす。

④アロエ、しょうゆ、みそを塗るなどの民間療法はせず、赤チンなどの消毒薬も使わない。このようなことをする前に必ず、医師の診察を受けること。

化膿したり、ケロイドやひきつれの原因になることがある。

